



いつの間にか夏休みが終わってしまいました。計画通りに進めましたか？ 来週の31日(木)、9月1日(金)は第1回実力テストです。このテストの成績は、受験校を決定する重要な資料となります。私学を受験する人は、高校等にこのテストと11月の実力テストの成績、2学期の評定を提示して合格の可能性について相談しますので、特に頑張ってください。基礎の復習が終わっていない人は、31日までに終わるよう努力してください。

自分の^目で確かめよう

～高校等の体験入学等～

夏休みに多くの学校で体験入学や説明会、合同説明会や進学フェアがありました。しかし、高等支援学校・支援学校以外の今年度の体験入学等の参加の届けは2件だけです。

体験入学等は、進学先が決まってから参加してもあまり意味がありません。学校選択に迷っている今こそいろんな学校見て体験し、進路を考えていかなければなりません。

あなた方はこれまで大人の都合や指導の下で生きてきました。いま15歳のあなたは、初めて自分の人生にかかわる大きな選択をしなければなりません。この選択は、大人の助けが必要ですが、大人任せにしてはいけません。自分の目で確かめ、納得のできる進路に進むため、体験入学等には数多く参加してください。園の先生はじめ周りの大人は、そのための労力はいといません。

体験入学等の日が中学校の土曜授業等の日に重なったときは、別の日に同様のものが開催される場合はその日に参加してください。開催されない場合は中学校に申し出て体験入学等に参加してください。その場合、中学校は「公欠」といって出席扱いになります。

公立高校に合格すれば他の学校へは進学渉永

～公立と私立～

高校等は大きく分けて「公立」と「私立」があります。

(1) 公立高校等

大阪府立及び大阪市立や他の市立高校等のことです。学科が同じであれば、だいたい同じような内容を学習します。費用はかなり低く抑えられています。入学検定は府立も市立も一斉に同じ問題で行われます。(国・数・英はA基礎・B標準・C応用の3種類の問題のうち1つを高校が選択します) 大阪府内全域の高校に進学できます。入学時にその府県へ転宅する予定の



場合と大阪府内にない学科(海洋学科等)を志望する場合を除いて、他府県の公立高校へは出願できません。

公立の高等学校、高等支援学校、高等専門学校は、合格すれば必ずその学校に進学しなければなりません。特別選抜で合格すれば、一般選抜には出願できません。

大阪府立大学工業高等専門学校は、不合格でも公立特別選抜には出願できません。一般選抜には出願できます。

支援学校は他の学校(公立・私立)と併願でき、他の学校に合格すれば支援学校への進学を辞退できます。

※ 2次選抜・補充選抜

合格者数が募集定員に満たない学校(学科)のみ実施されます。出願時点でどの学校にも合格していない(入学辞退を含む)場合のみ出願できます。支援学校の合格者も、入学辞退をしなければ2次選抜には出願できません。

(2) 私立高校等

学校毎にそれぞれ特色を持った授業をされています。その特色が自分に合っているかよく見極める必要があります。費用は公立よりもかなり割高です。

入試の日は大阪、京都、兵庫についてはほぼ統一されています。(平成30年度は2月10日(土)、11日(祝)) 入試の内容は科目数も含め学校毎に異なります。

通学さえできれば(下宿や寮も含めて)受験できます。

※ 専願・併願

私立の高等学校等は、出願時に専願か併願かを明記します。

* 専願

合格すればその学校に必ず入学することを約束して出願することです。合格すれば他の学校に出願できません。不合格なら他の学校に出願できます。



* 併願

その学校に合格しても他の学校(主に公立高校)に出願できます。ほとんどの学校では入学金等を公立高校の合格発表の後に納入します。他の学校に進学する場合は納入する必要はありません。

多くの学校では併願よりも専願の方が合格しやすくなっています。

北淀・西淀川⇒淀川清流

～統合改編される高校名～

平成30年度に統合改編される高等学校の名前が決まりました。北淀高校と西淀川高校が統合改編されるエンパワメントスクールは「大阪府立淀川清流高等学校」、泉尾高校と大正高校が統合改編される総合学科の高校は「大阪府立大正白稜高等学校」となりました。